

科目名		カラーコーディネーション			
担当教員		木下 聡子		実務授業の有無	○
対象学科		インテリアデザイン科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		色の基本的な仕組みや、人に与える心理効果を学び、配色の基本や環境の事例を通して学ぶ。 1. 色の働きと分類、視覚効果の基礎と重要性を学ぶ。 2. 人の心理と関係が深いことを認識し、環境に適した配色を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。			
学習目標 (到達目標)		色彩の基礎を学び、効果的なカラーコーディネートが出来るようになることを目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①色彩検定公式テキスト ②新配色カード199用演習台紙 ③配色カード			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	概要説明 ①科目概要について ②色の働きについて			科目概要について 色の働きについて (色の働きの種類と内容が説明できる)	
2	色の表示 ①色の分類と三属性 ②カラーオーダーシステムについて (色の三属性、PCCS等について説明できる)			色の分類と三属性・カラーオーダーシステムについて (色の三属性、PCCS等について説明できる)	
3	光と色 ①光と色の関係について (色はなぜ見えるのか説明できる)			光と色の関係について (色はなぜ見えるのか説明できる)	
4	色彩心理-1 ①色の心理的効果について (色の三属性と心理効果について説明できる)			色の心理的効果について (色の三属性と心理効果について説明できる)	
5	色彩心理-2 ①色の視覚効果について (色の対比現象等について説明できる)			色の視覚効果について (色の対比現象等について説明できる)	
6	色彩心理-3 ①色の知覚的効果について (色の錯視等について説明できる)			色の知覚的効果について (色の錯視等について説明できる)	
7	色彩調和 ①配色の基本的な考え方 ②三属性及びトーンから見た考え方 ③配色技法			配色の基本的な考え方、技法について (基本的な考え方、三属性及びトーンから見た考え方、配色の技法について説明できる)	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題	評価テスト		インテリアにおいて色彩は重要な要素のひとつです。色彩の基礎をしっかりと身につけて色を使いこなせるよう、定期的に小テスト等を行い習得状況の確認し、その状況に応じて繰り返し確認することで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については十分な解説を行う。	
5 %	60 %	35 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		店舗内装、撮影衣装などに関する色のアドバイス等の業務に18年携わる。			